

志染地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 平成30年11月16日
午後7時00分～9時00分
- 2 場 所 志染町公民館2階会議室
- 3 参加者 志染地区 15人
市 26人（市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防本部次長、教育総務部長、教育振興部長、危機管理課長、企画政策課長、生活環境課長、観光振興課長、農業振興課長、道路河川課長、交通政策課長、消防本部総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課副課長）
オブザーバー 8人
傍聴者 5人

4 内 容

- (1) 地区からの意見・提言及び市からの回答

別紙のとおり

- (2) 意見交換

- ア 防災等に対する安全確保について

【志染地区】

呑吐ダムはダムの水がかなり増えてから放流するため、みるみるうちに川の水位が上がり、恐怖を感じている。これにより川の護岸も崩壊する。人の命にも関わることなので、考えていただきたい。

【志染地区】

事前放流については、いままで市から要望されているが、呑吐ダムは利水ダムなので事前放流ができないということで断られていると聞いている。7月の豪雨では全国的に被害が大きく、インパクトが大きかった。このインパクトを利用して融通の利くダムの運用ができるように強く要望していただきたい。エリアメールの件についても、7月豪雨で災害が起きている中で、国と携帯事業者との取り決めを見直せな

いのか確認していただきたい。エリアメールの配信項目の変更は可能であると考えている。

【危機管理課長】

エリアメールの項目を増やせないか、大手通信事業者に要望していきたい。

【副市長】

呑吐ダムについて、県を通して何とか治水活用できないか話をしようとしている。利水ダムであるため農業用水として水をためており、事前放流しないルールになっている。市としては、降雨予測を活用して事前放流できないか県と連携して話をしたいと考えている。呑吐ダムは水をためるのが原則で、事前放流の意志はないとの回答となっている。全国的にも利水ダムにおいて事前放流として実施している例はないが、降雨予測を活用してある程度放流しているダムはある。このような事例もあげながら話をしていきたい。事前放流の実施は難しいが、現在呑吐ダムにおいて雨が降る前に少しだけ水位を下げている。このように水位調整をやっていただいっており、これを拡大できないか調整を進めたい。なお、利水ダムは流れてくる以上の水は出さないということをご理解いただきたい。

【志染地区】

流れてくる以上の水は出さないことは聞いている。周辺からダムに流れてくる水の量は把握しているのか。

【副市長】

ダムの管理者が把握している。ダムの水位の上昇度合いを見て、どれだけの水が入ってきたのか計算している。

【志染地区】

コンピュータを使って、降雨予測からどれくらいの水の量が流れてくるということは、あらかじめ予測できるのではないか。

【副市長】

おっしゃるとおりである。しかしながら、水がどれくらい流れてくるのかというのは、すでに地面がどれくらいの水を含んでいる状態なのかにもよって変わってくる。基本的に流れてくる水の量は、ダムの場合は水位の上昇の度合いで見る。

【志染地区】

かつての台風16号のときに大雨が降り、市内でも浸水した。戸田地区の橋もつかり、豊地や吉川でもつかった。神戸市でもつかったところがかかなりあり、その後神戸市は淡河川の護岸を改修した。予算の関係もあるが、三木市域の護岸を改修していなかったのが、今回の豪雨で洗掘されて災害が起きた。川上が整備されたので、水がストレートに来るようになったのではないかと心配している。護岸の改修や川底を掘り下げるなどの対策をしていただくよう県に要望していただきたい。

【副市長】

淡河川に関しては、下流からすべて流下断面をチェックしている。河川の整備は下流から実施するものであるが、淡河川については上流で頻繁に浸水する箇所があるので、その部分について整備したものである。

【志染地区】

戸田地区の河川整備も県に働きかけていただけないか。

【副市長】

県に対して働きかけていく。

【志染地区】

7月の豪雨でさまざまな被害があった。災害復旧については国からの補助があるとは聞いているが、地元としては補助以外の地元負担部分に困っている。市に相談したところ、真摯に対応いただき、市でできるできないは別にして納得はした。今後、市として地元負担部分についての支援をお願いしたい。

イ 地域の安全安心な生活について

【志染地区】

安福田地区の防犯灯の設置については、どこでも設置していただけるのか。

【生活環境課長】

防犯灯の設置については、市の要綱に基づいて実施しており、設置場所は地区の申請により設置することとなる。新設

の場合は、地元で経費の1/3を負担いただく。平成23年度から防犯灯のLED化を推進しているところであり、LED器具への交換についても補助している。基本的には、防犯灯は電柱に設置しており、設置を希望する場所に電柱がない場合は、地元で専用の柱を設置いただく必要がある。設置する際には十分検討いただき、必要に応じて生活環境課にご相談いただきたい。

【志染地区】

市から補助を受けて地区に防犯灯を2か所設置している。設置の際には電柱への設置が前提とのことで、それ以外の柱に設置することができなかった。このたび、もう1か所設置したいと考えており、電柱への設置では死角が多いので、できれば別の柱に設置したい。

【生活環境課長】

防犯灯の設置場所は、電柱があるところばかりでなく、電柱がないところもある。そのような場合は専用の柱を設置して、そこに防犯灯を設置することは可能である。詳細についてお聞きし、個別に相談させていただきたい。

【志染地区】

県道沿いに植栽があり、集落から車で県道に侵入する箇所が植栽で見通しが悪い。低い植木が植えてあるが、植木よりも草が高く伸びている状態であるため、草刈りをお願いしたい。植木の間から草が伸びている状態で、刈りにくいというのはわかるが、年1回の草刈りでは少ない。集落から県道に出るところを広げてほしいという意見もある。急に県に言っても難しいとは思いますが、場所によっては考えていただきたい。集落で草刈りができるところはやっている。集落でやるには危険なところもあり、県でしっかりと管理していただきたい。見通しが悪い所は、早急に草刈りをお願いしたい。

【都市整備部長】

以前は県が年に2回除草作業をしていたと聞いている。最近では予算の関係もあり年に1回になっている。県としては、危険な箇所は重点的に実施するとのことであるので、市に連絡いただければ、県に要請する。

【志染地区】

年に2回花いっぱい運動を実施しており、花の苗をいただいている。小学校や公民館など以前から決められた箇所に植えている。しかしながら、新しく植えたい箇所の分はいただけないため、その部分は単位クラブの予算でやっている。花の苗を増やしてもらうことはできないか。

【健康福祉部長】

毎年7月と11月に老人クラブに花の苗を配付している。予算の関係もあるが、要望があれば福祉課で相談させていただく。

【志染地区】

防犯カメラの設置について、自治会で設置する場所の検討をしている。メインの道路から集落に入ってくる細い道に設置すれば、泥棒や不審な車が入ってきたときに確認することができる。そうすると4か所か5か所設置する必要があり、地元負担を考えると難しい。自治会員が多い地区なら負担できるかもしれないが、農村部では会員数が少なく、地元で負担するのは厳しい。農村部については、市の負担で設置することはできないか。

【生活環境課長】

市による防犯カメラの設置については、回答のとおり駅前の駐輪場や大規模交差点など人や車両が多い箇所を中心に整備することとしている。ある地区では、単位自治会でなく区長協議会区域内に入る主要な道路に防犯カメラを設置して区域内をカバーしようとしている。各自治会で複数箇所に設置するのであれば、小さい自治会では維持管理が負担になると思われるので、区長協議会やまちづくり協議会などの大きい単位で検討いただいてはどうかと考える。また、市が設置した防犯カメラであれば、2年に1回SDカードの交換を含む保守点検を行っており、その費用が2万円程度かかっている。市の設置箇所は駅前などの主要な箇所であり、警察からの確認依頼も多いため、2年に1回の交換が必要と考える。しかしながら、ある防犯カメラの業者からは、自治会で設置した防犯カメラであれば3年に1回の交換でもいいのではないかという意見もあり、それであれば、年間7千円程度の

負担で維持管理ができる。

【志染地区】

ネスタリゾート神戸から大谷地区への下り坂で11月7日に物損事故が起き、信号のボタンが破損している。事故を起こした車は逃げてしまったと聞いている。道路を拡幅するに当たっては、スピードが出ないように、直線にせず到大回りになるようにしていただいたが、スピードを減速させるための路面標示や段差舗装など早急に対応していただきたい。

【都市整備部長】

県にしっかりと伝えていく。

ウ 地域の産業や資源の活性化について

【志染地区】

私は、区長協議会から小中学校の再編についての地域部会に参加している。そもそもスタートから学校の統合ありきで検討している印象である。なぜ、小規模校として残すことについて地域部会で検討しないのか。

【学校教育課長】

アンケートで新たな方法で進めていくべきではないかという意見があり、これを踏まえて総合教育会議、学校再編検討会議で検討し、もし統合するのであればということで、地域部会で意見をいただくこととした。

【志染地区】

志染地区で意見を聴くと、いまの規模のままで、他地区の子どもを受け入れることで維持できないかという意見がある。小規模校のままで維持しながら、他地区の子どもを受け入れることも含めて検討できないか。

【教育振興部長】

おっしゃっているのは、特認校のことである。過疎化が進んだ地域において、近隣に都市がある場合で、特認校の制度によってアレルギーの子どもが空気のきれいな学校に行ったり、学習内容を特化して特認校をとることも可能である。しかしながら、三木市として考えると、特認校として他地区の子どもを受け入れたとしても、子どもの数はそれほど増えないため厳しいのではないかと考える。今後、学校再編を行

った後で、それでも児童生徒数が減少してきたときに、特認校について検討する構想は持っているが、市としては1学年2クラス以上の規模の学校として、その中で子どもたちにさまざまな経験をさせてやりたいと考えている。

【志染地区】

12月に志染地区で説明会があると聞いている。その中で、地区のみなさんの意見を集約していきたい。

【教育振興部長】

引き続きご意見をうかがいながら、検討したい。

【教育長】

「なぜ統廃合ありきなのか」という意見であるが、小規模校の良さを認めつつも、小規模校として維持することが、子どもたちにとって本当に良いことなのかどうかというところから議論をスタートしている。その中で、学校を自由に選択できる制度なども検討した上で、こういう案はどうでしょうと提案しているのが今の段階である。したがって、地区の事情や特に小学校は、コミュニティの核であるというご意見など、いろんなご意見をお聴きしながら、子どもたちにとって良い教育環境とはどういうものかということと一緒に考えていきたい。

【志染地区】

志染中学校が緑が丘中学校と統合するという案が既定事実となり、独り歩きしている。来年、再来年に早急に統合するという印象であったが、今日の回答ではそうではないとのことであった。小規模校についてのアンケートをされたが、それは一部の人たちの意見で全部の意見ではない。また、小規模校だから人間関係が希薄で、さまざまな経験ができないというのは思い込みである。やり方によっては、いろいろな経験をさせることができる。それは学校の教育方針や教師の力量によるものであり、小規模校だからダメだと言っているが、そうであれば全国の小規模校がすべてダメということになる。いい教育をされている学校もあり、小規模校だから学力が落ちるのではなく、かえって行き届いた教育ができる。いじめもなく、子どもたちの仲も良い。そういうことを考えると、義務教育の期間は地元の学校に通わせていただけない

か。市の回答で「三木市の将来を見据えつつ、地域の活性化に向けた様々な施策が、両輪の役割を果たしながら」とあったが、小中学校が大規模校に向かうのであれば、地域の活性化は実現するのか。かえって地域は衰えていくのではないかと心配している。小規模校として、もっといろいろ工夫して、どうしたら子どもたちにいろいろな経験をさせ、人間性や社会性を育むことができるのか考えていただきたい。三木市の教育がすばらしいということになれば、若い世代が三木市に戻ってくる可能性もある。教育は長い積み重ねであり、すぐに効果が出るものではないため、重々考えてしっかり取り組んでいただきたい。

【教育振興部長】

教育は長い積み重ねであるというのは、同じ認識である。子どもたちが20年、30年後にどんな社会になっているのか、その中でどんな力を発揮することができるのかということを考えてときに、人と人との関わりや多様な経験を通して大人になったときに、社会をけん引する力が必要ではないかと考えている。地域の方や保護者の声を取り入れながら進めていきたい。

【志染地区】

人口減少に対して、どのように対応するのか。志染の魅力や特色をのぼすことが将来の人口増に資すると考える。何が志染の特色なのか。市はどうとらえているのか。

【総合政策部長】

志染の魅力や特色としては、地域資源や観光資源も豊富である。これをどのように活用していくのかがこれからのまちづくりの大きな課題であると考え。現在、総合計画を策定中であり、いろいろな意見を聴く場を設けたいと考えている。地域の方が何を誇りに思っているのか、それをどう活用するのかについて、市も一緒に考えていきたい。これをすれば活性化するというものはなく、地道な活動が重要であると考えており、地域の方のご協力をお願いしたい。

【副市長】

具体的な取組としては、情報公園都市の第3工区について、県とのパイプが復活したこともあり、事業が進み出すことに

大いに期待している。ただし、県と小野市が長寿の郷構想の土地で工業団地を進める計画がある。予定では平成33年に供用開始の計画である。三木市においても工業団地の話があったが、三木市が断った経緯があるため、まずは小野市の取組が先となり、三木市はその後になると考える。県との連携が取れてきたことにより、光が見えてきている状況にある。また、フランスの陸上チームの合宿地に三木総合防災公園が選ばれ、100人規模のチームが来られることについても、三木のPRにつなげたい。インバウンドにつなげる起爆剤とにならないかと考えている。

【志染地区】

志染町公民館の出入口が非常に危険である。以前から問題として取り上げているが見直しもされていない。注意を促すだけでは対策として不十分ではないか。将来的にはどのように考えているか。

【教育振興部長】

危険な状態であることは認識しているが、すぐに改善することは難しい。何らかの方策が取れないか検討し、後日回答する。

エ 防災等に対する安全確保について

【志染地区】

集中豪雨や台風によって竹や木が農道にかぶさっていたものを地区で切って置いていた。これをどう処分すればいいのか市に相談したところ、すぐに市で撤去していただいたので感謝している。それ以外に問題になっているのが大きな木の伐採である。大きな木が道にかぶさって危険であるため、地区で意見を取りまとめて場所をお知らせし、市と協力して木の伐採をしたい。

【都市整備部長】

まずは道路河川課又は用地管理課にご相談いただきたい。